

商店街支援活動実施報告書

相談診断士	城北 支会 サポートを頂いた方または団体(あれば): 診断士 長谷川 猛 電話またはE-mail : 04 - 7163 - 1357	氏名: 泉 利男
支援先商店街	商店街名称: 熊の前商店街 所在地: 東京都荒川区東尾久5丁目17番13号 主な対応者 部長(ポイントカード担当) 前田 晃	訪問回数: 5回

1. **商店街の現状** 熊の前商店街は荒川区の南西部に位置し、ちんちん電車「熊野前停留所」から1分の所にある近隣型商店街である。商店街は南北に約450mにわたって最寄品、買回り品などが軒を連ねており、業種的には衣料品2割強と多い。荒川区では三ノ輪商店街、荒川銀座商和会と並んで三大商店街の一つに数えられている。

2. 商店街の問題点

- (1) 商店街の立地環境が国電・隅田川・幹線道路等により分断され商圈が広がりにくい構造である。
- (2) 町工場が姿を消していくとともに、人口も減少している。
- (3) 周辺商店街との競合・
- (4) 上野、浅草、日本橋といった繁華街へ顧客の流出などの影響を受けている。

3. 商店街の街づくりの方向・経過

問題点に対して、昭和56年度ごろから近代化の機運が盛り上がる。

昭和59年度 東京都モデル事業に立候補して、指定を受ける。「魅力ある商店街づくり」に都・区の指導を受ける。ハード・ソフトの両面から意欲的に諸事業が実施された。

- (1) 商店街道路のカラー舗装化 カラー舗装化をして、商店街のイメージを一新した。
- (2) 装飾街路灯の新設 老朽化した街路灯を、装飾街路灯36基とにかえる。
- (3) エントランスアーチの新設 デザインは上部中央に時計を取り付けた。
- (4) ポケットパーク 来街者の憩いの場として「杉野中尉の碑、伏見稲荷の地」を整備。
- (5) ストリートファニチュア 電話ボックス、案内板、ベンチなどを設置。
- (6) コミュニティセンター 組合事務所を取り壊し、コミュニティセンターに改築した。

この施設は昭和61年度に完成した。これは大きな事業であり、街は一新した。

現在は平成17年の夏・秋を目標に「満点ポイントカード」の導入を進めている。

- (1) 導入の目的 商店街のイメージアップ 消費者に「楽しく便利でショッピング出来る商店街」商店街全体のイメージアップ 商店街固有の固定客づくり どうせ同じものを購入するならポイントカード加盟店で買う 他地域・競合商店街へのお客様の流出を防ぐ 大型店への大きな対抗手段である ポイントカードで大型店に真似の出来ないふれあい感を高める 商店主同士の意識統一と商店街自体の力をたかめる を目的とする。

- (2) 効果的に導入するために(先ずは啓蒙の段階) 商店街の導入店に対して、診断士 長谷川先生とポイントカードの勉強会などを行っている。

勉強会の内容は 満点ポイントカード導入の背景 カードの種類 スタンプシールとポイントカードのメリット、留意点 商店街ポイントカードシステムの仕組みと流れ ポイントカードシステムの導入手順 予算・スケジュールの立て方などである。

- (3) 2月度現在はカード会社選択の段階に入っている。

4. **今後の取り組み** また「商店街イメージとイベント戦略」のテーマに取り組んでいる。猫招き像がつくられ、イベントとして熊の前カーニバル・サンバは大学のサンバチーム200人も参加して圧巻である。「楽しい、親しまれる、賑う商店街づくり」が期待されている。

